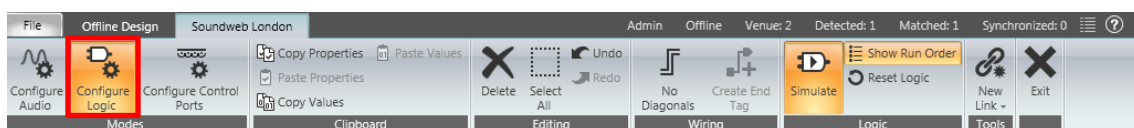


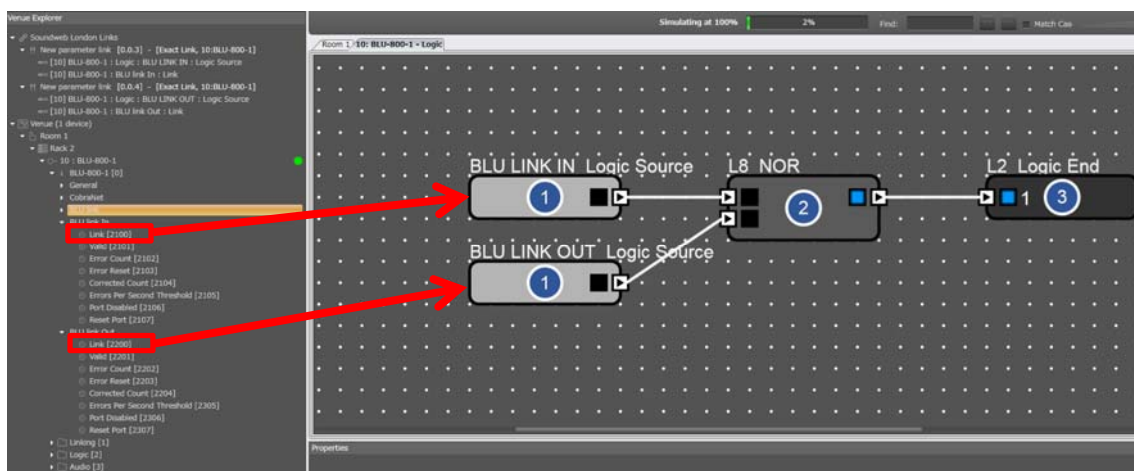
BLU-LINK での疎通を確認する方法

Logic オブジェクト「Logic Source」に「BLU Link IN」と「BLU Link OUT」をアサインすることで、BLU link の接続状態を確認することができます。

この方法は、BLU link 内すべてのデバイスの IN/OUT を確認するのではなく、個別デバイスの BLU Link IN/OUT 間でリンクが確立されているかどうかをモニターする方法です。



下記のように「Logic Source」を2つ作り、「BLU Link In」の「Link」と「BLU Link Out」の「Link」を、それぞれドラック&ドロップしリンクさせます。

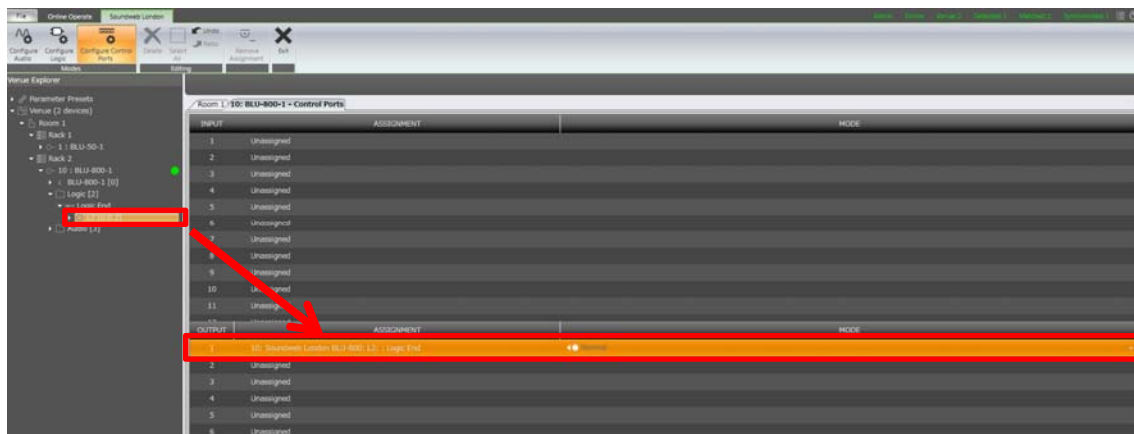


「Logic Source」のプロパティ内にある「Auto Off」パラメータを「0」とし、エラー時に自動で消灯ないようにします。

この「Logic Source」オブジェクトはリンクが確立されていると「1」が出ます。
そのため、IN と OUT 両方の接続が切れた場合に「0」を出すために「NOR」オブジェクトを使用します。下記は NOR のロジックテーブルです。

A	B	O/P
0	0	1
0	1	0
1	0	0
1	1	0

これで BLU link が「IN」、「OUT」ともに疎通確認できない場合、「1」が出るようになりました。この「Logic End」を「BLU-800」の GPO①へアサインします



別途カスタムパネルに上記「Logic End」とリンクしたLEDオブジェクトを設定すると、BLU linkの「IN」、「OUT」ともに疎通が取れない場合、カスタムパネル上のLEDを点灯させることができます。

